在籍する小学校の担任の先生に渡してください。

（小学校への書類作成依頼及び相談は、**12月上旬までに**行ってください。）

川崎市立川崎高等学校附属中学校志願者在籍校の校長へのお願い

川崎市立川崎高等学校附属中学校の志願手続について、次のとおり志願者又は保護者から依頼がありましたら、志願者の在籍校にて手続等を行ってください。

志願者全員が対象

1　志願資格の有無の確認

- 受検案内の２頁を確認し、志願資格の有無を確認してください。令和９年４月１日までに川崎市外から川崎市内に保護者とともに転居を予定している場合又はその他特別な事情がある場合は、下段に記載する志願資格承認申請の手続も併せて御案内ください。

2　調査書（第２号様式）の作成

- 作成にあたっては、裏面の記入見本を参照してください。「各教科の学習の記録」の欄には、第６学年の前期終了時（３学期制の場合は２学期）の小学校学習指導要領に基づく学習の記録を、小学校児童指導要録の評定に相当するものとして「3、2、1」の３段階で記入してください。評定に関する資料が整わない場合は、参考にできる資料を活用します。
- 学校名が印刷された封筒（用意できない場合は任意の封筒で可）に**厳封**（調査書は折りたたみ可）し、**「開封した場合は無効」であることを志願者及び保護者に伝えた上で交付**してください。
- 出願書類提出期間である**令和９年１月５日（火）から１月７日（木）まで**に間に合うように志願者又は保護者に渡してください。

該当する志願者のみ

1　川崎市外から川崎市内に保護者とともに転居を予定している者又はその他特別な事情がある者

- 志願者及び保護者から依頼された「志願資格承認申請書（第４号様式）」の校長の副申の記入をお願いいたします。

2　海外からの移住者等を保護者とする者又は障害等のある者のうち特別な受検方法を必要とする者

- 通常の検査方法では受検が困難であると認められた場合に、検査問題の内容等の程度を変えない範囲で、在籍する学校で通常行っている配慮と同程度の適切な取扱いを講じます。
- 「海外からの移住者等を保護者とする受検者の受検方法申請書（第８号様式）」又は「受検方法申請書（第10号様式）」について、志願者及び保護者から申請の相談がありましたら、まずは指導課に連絡した上で、校長の所見の記入をお願いいたします。

受検案内及び各様式は、川崎市教育委員会ウェブサイトよりダウンロードできます。
不明な点は、川崎市教育委員会事務局学校教育部指導課（電話　044－200－3243）にお問い合わせください。
https://www.city.kawasaki.jp/880/page/0000186695.html

記入見本

第２号様式

受付番号	※

志願先　川崎市立川崎高等学校附属中学校

調　査　書

1　各教科の学習の記録は、第６学年の前期終了時（３学期制の場合は２学期）の小学校学習指導要領に基づく学習の記録を、小学校児童指導要録の評定に相当するものとして記載する。

2　入学等の欄は、現在籍校に入学又は転編入学した年月を記載し、当該箇所に○をつける。

3　誤記訂正の場合は、訂正箇所に記載者の印を押し訂正する。

4　※の欄には記載しない。

児童指導要録から転記（通称名を使用している場合は括弧で併記）

学籍の記録		
	フリガナ　●●●●　●●●●（通称名●●●●　●●●●）	性別
	児童氏名　●●　●●（通称名●●　●●）	●
	生年月日　平成　●　年　●　月　●　日	
	現住所　川崎市●●区●●●　●－●	
	入学等　令和　●　年　●　月　入学 第　学年　転入学 第　学年　編入学	
	卒業　令和　9　年　3　月　卒業見込み	所属学級　６年　●　組

児童指導要録から貴校への入学年月を転記
入学、転入学、編入学のいずれかに○をつける。
直近の記録のみ記入してください。

令和９年３月と記入

各教科の学習の記録

国語	社会	算数	理科	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語
●	●	●	●	●	●	●	●	●

第６学年前期終了時の各教科の評定を「３、２、１」の３段階で記入

事項に相違ありません。また、当該児童が他の公立の中等教育学校型の中高一貫教育校の中学校に志願しないことを証明します。

令和　●　年　●　月　●　日

調査書を作成した日付を記載

小学校名　川崎市立●●小学校
校長氏名　●●　●●
所 在 地　川崎市●●区●●●　●－●
電話番号　●●●－●●●●
記載者氏名　●●　●●

必要事項が記載されていればゴム印可